

令和５年度 学校経営計画書

１ 教育目標

心身一如の発達につとめて

真理を求め、勉学を第一義とすること

情操を豊かにし、自らの品位を高め、他者の人格を重んずること

正義を愛し、誠実にして、社会から信頼されること

石川県立金沢泉丘高等学校（全日制課程）
学校長 岡 橋 勇 侍

２ 中・長期的目標

（１）学校の現状

- ① 本校は、創設以来「心身一如」を校是とし、調和のとれた人材育成に取り組んでいる。「確かな学力」を身につけさせるとともに、次世代を担う心身共に健全で品位と良識あふれるリーダーの育成をめざし、保護者や県民から信頼される学校づくりを進めている。
- ② 大学進学に関して、県内有数の進学校としての実績を収めている。世界を視野に高い志を掲げて学習させるとともに、第一志望を実現させることをめざしている。
- ③ 平成１５年度から令和２年度まで、４期１８年間ＳＳＨ研究開発の指定を受け、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成に努めてきた。令和４年度から５年間、ＳＳＨ認定校に指定され、活動プログラムの更なる発展・完成を目指している。
- ④ 平成２７年度からの５年間のＳＧＨの指定が終了し、グローバルな社会課題に関し、多面的に考え、多角的に行動する力を備えた、国際舞台で活躍する人材の育成のための本校独自の探究活動プログラムが形になり、本校普通コースにもその指導のノウハウは波及している。そして新しい金沢泉丘ＳＧＨプログラムの開発に取り組んでいる。
- ⑤ 平成２４年度に「いしかわニュースーパーハイスクール」の指定を受け、人文科学、自然科学の両分野における幅広い教養を身につけ総合力を備えた、国際性に優れた次世代を担うリーダーの育成をめざしている。本県ニュースーパーハイスクールの牽引役の使命を担っている。

（２）生徒に関する中・長期的目標

- ① 「確かな学力」の育成
進学実績の向上をめざし、確かな知識に基づいた深い学びにつながる質の高い教科指導を、ＧＩＧＡスクール構想を踏まえつつ、主体的・協働的な学習方法を取り入れるなどして、組織的に展開する。
- ② 豊かな心の育成
「心身一如」の具現化に向け、部活動・学校行事・社会奉仕活動等の教育環境・設備を整え、次世代を担うリーダーに必要な人格の陶冶をめざす。

（３）教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 指導力の向上と組織の活性化
県民目線で教育公務員としての規範意識をしっかりともち、法令を遵守する。効果的な教育活動を展開するために、研究授業や職員研修会を通して教職員の指導力を高める。また、組織運営の合理化・効率化を推し進めることにより、教職員がワーク・ライフ・バランスを維持し、活力と創造力を十分に発揮することのできる職場環境を形成する。
- ② 開かれた学校づくり
本校の方針や特色ある取り組みを、積極的に県民に伝え、広く協力・支援が得られる学校とする。また、ＰＴＡや地域社会とも連携することによって、本校の教育活動が有機的に展開することをめざす。

３ 今年度の重点目標

創立１３０年目を迎える歴史と伝統を踏まえ、建学精神に基づいた教育活動の実践に努める。

- ① 「勉学を第一義とすること」を踏まえ、質の高い学力を育成する。
・ 知的的好奇心旺盛な生徒に、本質に触れる質の高い授業を提供する。生徒１人１台端末を効果的に活用するなどして、生徒の主体性を高める指導法の研究に努めるとともに、新しい大学入試で求められる力及び大学卒業後もイメージし、過年度生も含めた生徒の高い進路志望の実現を図る。
- ② 探究活動プログラムの進化・発展に努める。
・ これまで積み上げてきたＳＳＨ・ＳＧＨプログラムを進化・発展させ、２つのプログラムを融合させた新しい探究活動プログラムを実践する。そして、その指導法を本県高等学校に波及させる。
- ③ 「品位を高め、他者の人格を重んずること」を踏まえ、よりよき集団づくりをめざし、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。
・ 挨拶の励行、環境美化、部活動・生徒会活動の活性化や、よりよい人間関係づくりに努める。
- ④ 「正義を愛し、社会から信頼されること」を踏まえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。
・ 授業公開など学校公開の機会の拡大を図る。地域社会と連携したボランティア活動を推進する。
- ⑤ 組織運営・教職員の働き方の改善により、教育活動の効果を一層高める。
・ 効率的で密度の濃い学習活動、部活動・生徒会活動の推進に努める。